◇内山観音（蓮城寺）

内山観音の愛称で親しまれる蓮城寺は、桜の名所としても有名で、観音様に合格祈願をしていた人が、桜の季節になるとお礼参りに来る姿も見られます。

国宝・臼杵石仏との縁も深い真名野長者が、中国からきた蓮城法師のために建設したと言われるこの寺には、長者夫婦の墓や金亀ヶ渕など長者伝説ゆかりの史跡が残されています。

また、観音堂には本尊の千手観音、薬師堂には京都三十三間堂と並ぶ 998 体の薬師像や一寸八分観音など、貴重な文化財を多数見ることもできます。

◇ LAMP 豊後大野・REBUILD SAUNA

山奥のゲストハウス・LAMP 豊後大野にある廃材を使ってセルフビルドした小屋サウナ。



REBUILD SAUNA

◇ロッジきよかわ・JOKI SAUNA

豊後大野市清川町にある宿泊施設・ロッジきよかわのテントサウナ。目の前に流れる澄んだ川が水風呂となります。



自然豊かなロッジきよかわ



テントサウナ

◇ちとせ花ひろば

ちとせ花ひろばは、令和元（2019）年に「千歳まちづくり協議会」が地域の賑わいづくりを目的として整備・開設しました。

しだれ桜や河津桜、ツツジが植えられており、四季折々の花が楽しめます。

花の少ない冬期には、後身の「まちづくり千歳」がイルミネーションの花を咲かせようと、LED 電球で装飾を行っています。電球の数は年々増加し、令和 7(2025) 年冬には 15 万球に達しました。



ちとせ花ひろばのイルミネーション

◇やすらぎ公園展望台

神角寺の北側に広がる高台にある展望台です。特徴ある形の展望台に登ると、九州の山々を一望できる大パノラマが広がります。きらめく星空観察にもぴったりです。


やすらぎ公園展望台

◇佩楯山（はいだてさん）

佩楯山は、豊後大野市と佐伯市の境に位置し、大野川と番匠川の分水嶺を形成する稜線の最高峰です。

頂上に各種業務無線局が設置されている関係で舗装道を車で登ることもできますが、歩いて登るルートもあります。見晴らしのよい山頂からは豊後大野市三重町の中心部や由布・鶴見岳、祖母山の展望が楽しめ、また多くの電波塔とともに一等三角点が設置されています。


佩楯山の山頂

◇烏 嶽（からすだけ）

豊後大野市の烏嶽は祖母山から北東に伸びる長い障子岩尾根の末端に位置する山です。

山頂には天正年間、薩摩軍の豊後侵入を防ぐ目的で烏嶽城が築かれていました。

登山口は、林道宇目小国線の烏嶽トンネルのそば。道標に従って入山し、尾根道を進むと小一時間で山頂に到着します。山頂は、全く展望がききませんが、山頂の 100 mほど手前にある断崖絶壁の上からは北西方向に大展望が得られます。また、最近では南西にある倉木山とセットで周回登山を楽しむ登山者も多くなっています。

◇烏嶽円形分水（からすだけえんけいぶんすい）

緒方町小原（おはる）地区にあります。長谷緒井路（はせおいろ）本線の水を小原方面と上緒方方面に分水するため、水路の水はサイフォンの原理を利用して、円形分水の手前から潜り中央から吹き上がっています。昭和 13（1938）年の通水から、常に一定の比率で分水される合理的な構造。豊かな実りを願った先人たちの思いが今も生き続けています。


烏嶽円形分水

◇神角寺渓谷

神角寺渓谷は、地域の皆さんが森づくりのため、モミジなどの広葉樹を植樹し、里山再生・保全活動に取り組まれています。

秋には、渓谷沿いは紅葉が進み、きれいな風景を見せてくれます。


秋の神角寺渓谷

◇左右知（間の内）のイチイガシ

左右知の御嶽山に向かう林道の奥に生育するイチイガシの巨木です。ブナ科コナラ属の常緑の高木で、総高は 12m、胸高幹囲は 10m あります。幹の中心に空洞があって、中には祠が祀られており、大分県特別保護樹木にも指定されています。



左右知(間の内)のイチイガシ



健男社の杉並木

◇健男社

健男社は、祖母・傾・大崩ユネスコエコパークの代表的な見どころのひとつです。

健男社の杉と自然林は、県指定天然記念物となっており、杉並木に囲まれた 480 段の石段の上に拝殿が位置しています。神殿の背後地にはモミの巨木を優占種とする自然林が残され、近年林業開発により消滅のモミ林の貴重な残存林として学術的に高く評価されています。

また、奥嶽流の上畑獅子舞が地域の大切な伝統芸能として残っています。